



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月7日

上場会社名 大同メタル工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 7245 URL <https://www.daidometal.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 判治 誠吾

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画ユニット長 (氏名) 籠原 幸彦

TEL 052-205-1400

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日

2024年12月6日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	68,432	8.0	2,708	22.5	2,620	18.4	528	14.1
2024年3月期中間期	63,383	11.3	2,210	232.4	2,212	135.1	615	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 5,309百万円 (7.9%) 2024年3月期中間期 4,918百万円 (24.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	11.20	
2024年3月期中間期	13.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	196,478	82,476	36.9
2024年3月期	188,369	78,721	36.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 72,573百万円 2024年3月期 68,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		7.00		13.00	15.00
2025年3月期(予想)				8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	1.8	6,000	1.4	5,700	2.2	2,500	2.7	53.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	47,520,253 株	2024年3月期	47,520,253 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	374,324 株	2024年3月期	385,061 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	47,133,949 株	2024年3月期中間期	47,129,895 株

(注) 当社は、取締役及び執行役員向けに、信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しております。当該信託に残存する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで本日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	8
中間連結会計期間	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、全体としては緩やかな回復基調であるものの、欧米各国のインフレが加速したことによる金融引き締め政策の継続、ウクライナ・中東情勢などの地政学的リスクや中国経済の減速などの影響を受け、不安定な状況が続いています。

わが国経済においては、経済活動の正常化を背景に、個人消費は一部に弱い動きが見られるものの回復基調が見られ、設備投資についても底堅く推移しています。一方で、為替変動、人件費や物流コスト増加などに伴う物価上昇の影響もあり、先行き不透明な状況が続いています。

このような市場環境下、当社グループの当中間連結会計期間における業績につきましては、北米の自動車業界における堅調な需要の推移、アルミダイカスト製品や精密金属加工部品の受注増や為替の円安影響を受け、売上高は684億32百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

利益面につきましては、継続的な原価改善活動、販売価格の調整や不採算品の値上げ活動による利益改善などが寄与し、営業利益は27億8百万円(同22.5%増)となりました。また、経常利益は26億20百万円(同18.4%増)となりましたが、親会社株主に帰属する中間純利益は5億28百万円(同14.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、セグメントの売上高に含めております。

また、当中間連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当中間連結会計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)③報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① 自動車用エンジン軸受

日本国内の当中間連結会計期間の新車販売台数は、前年同期比で2.6%減少しました。他方、海外は米国が前年同期比2.3%、欧州は同6.3%、中国も同6.1%増加しました。

そのような状況下、当社グループの国内の売上高は前年同期比で微減、海外は主に北米の需要が堅調に推移していることや為替の円安影響を受け同約11%増加したことから、当セグメントの売上高は前年同期比6.1%増収の368億83百万円、セグメント利益は同9.8%増益の44億96百万円となりました。

② 自動車用エンジン以外軸受

タイでは金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などによる影響を受けたものの、中国の電動自動車向けの開拓などに伴う受注増や為替の円安影響もあり、売上高は前年同期比4.2%増収の106億64百万円となりました。セグメント利益は同6.0%増益の14億55百万円となりました。

③ 非自動車用軸受

・大型船舶

海上荷動き量の拡大基調に伴い、新造船需要が好調に推移していることから、2024年9月末の手持ち工事量は3,000万総トンと前年同期比で35.2%増となりました。徐々にコンテナ船需要は落ち着き、LNG船(液化天然ガス運搬用)、自動車運搬船やばら積み船の需要増加や継続的な中国・韓国市場の開拓に伴う受注増や値上げ効果により、売上高は前年同期比で増収となりました。

・建設機械/中小型船舶/産業用発電機他

建設機械用サービスパーツは在庫調整などによる受注減となるも組付の需要は堅調、船舶用補機や発電機などに使われる中高速エンジン用軸受の受注増により、売上高は前年同期比で増収となりました。

・電力エネルギー/産業用コンプレッサー他

水力発電機用軸受や石油精製プラント向けコンプレッサー用軸受の受注増はありましたが、蒸気タービン用軸受の一部で在庫調整などに伴う減少により、売上高は前年同期比で減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期比6.4%増収の86億44百万円、セグメント利益は同19.0%増益の16億53百万円となりました。

④ 自動車用軸受以外部品

・アルミダイカスト製品

タイの自動車業界については、金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などの影響により、前年同期比で、国内生産は18.7%減少しております。当社においては、タイの工場(DMキャスティングテクノロジー(タイ)Co., Ltd.)における受注価格調整の効果による影響や北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増により、売上高は前年同期比で増収となりました。セグメント損失は金型管理の高度化、仕上げ工程の改善や不良品の流出防止などの改善活動により、足元のエア便は減少したものの、船便輸送期間の長期化によるエア便出荷やエア便単価高騰の影響により、前年同期比で増加となりました。

・精密金属加工部品(曲げパイプ、ノックピン、NC切削品などの部品)

北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増により、売上高は前年同期比で増収となりました。セグメント損失は増収効果や物流費の減少による影響により前年同期比で大きく改善しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期比17.3%増収の118億36百万円、セグメント損失は11億78百万円(前年同期はセグメント損失11億95百万円)となりました。

⑤ その他

ポンプ関連製品事業では新型コロナウイルス感染症明けに加速した需要が一服した影響による受注減はありましたが、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート及び不動産賃貸事業等の当セグメントの売上高は前年同期比0.3%増収の11億57百万円、セグメント利益は製品構成の変化による影響により同14.9%減益の1億80百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間における総資産は1,964億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ81億8百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産、仕掛品、商品及び製品が増加したことによります。

流動資産は1,063億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億13百万円増加いたしました。これは主に仕掛品、商品及び製品が増加したことによります。

固定資産は901億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億95百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が増加したことによります。

負債につきましては1,140億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億53百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が増加した一方、短期借入金、支払手形及び買掛金が増加したことによります。

純資産は824億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億54百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が増加したことによります。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント増加し、36.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、52億32百万円の収入となりました。これは主に、法人税等の支払額による支出が18億27百万円あった一方、減価償却費による収入47億32百万円、税金等調整前中間純利益による収入26億20百万円によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、60億81百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出58億36百万円によります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、19億91百万円の支出となりました。これは主に、長期借入による収入が29億円あった一方、長期借入金の返済による支出が46億4百万円あったことによります。

以上により、当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は228億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億99百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表した予想値に変更はありません。

前提為替レートは、1 U S ドル/146円、1 ユーロ/159円としております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,956	29,605
受取手形及び売掛金	29,474	29,887
電子記録債権	3,199	2,924
商品及び製品	16,816	17,973
仕掛品	11,720	12,896
原材料及び貯蔵品	8,815	9,937
その他	2,650	3,238
貸倒引当金	△85	△100
流動資産合計	103,549	106,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,330	16,560
機械装置及び運搬具(純額)	22,997	22,493
その他(純額)	17,537	22,724
有形固定資産合計	56,865	61,778
無形固定資産		
のれん	4,070	3,859
その他	5,314	5,247
無形固定資産合計	9,384	9,106
投資その他の資産		
投資その他の資産	18,613	19,279
貸倒引当金	△43	△48
投資その他の資産合計	18,570	19,230
固定資産合計	84,820	90,115
資産合計	188,369	196,478

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,083	10,418
電子記録債務	11,960	12,602
短期借入金	32,487	34,900
1年内返済予定の長期借入金	7,739	5,923
未払法人税等	1,488	1,312
賞与引当金	1,778	1,672
役員賞与引当金	103	28
製品補償引当金	68	153
営業外電子記録債務	672	1,242
その他	9,087	9,861
流動負債合計	74,468	78,115
固定負債		
長期借入金	21,088	21,499
株式給付引当金	83	87
役員株式給付引当金	58	57
退職給付に係る負債	7,796	8,147
資産除去債務	17	17
その他	6,134	6,076
固定負債合計	35,179	35,885
負債合計	109,647	114,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,114	13,114
利益剰余金	36,549	36,460
自己株式	△291	△281
株主資本合計	57,786	57,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,615	1,470
為替換算調整勘定	6,418	10,461
退職給付に係る調整累計額	2,999	2,935
その他の包括利益累計額合計	11,033	14,867
非支配株主持分	9,901	9,903
純資産合計	78,721	82,476
負債純資産合計	188,369	196,478

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	63,383	68,432
売上原価	48,913	52,112
売上総利益	14,469	16,320
販売費及び一般管理費	12,259	13,611
営業利益	2,210	2,708
営業外収益		
受取利息	100	190
受取配当金	131	87
為替差益	297	90
持分法による投資利益	127	136
補助金収入	112	270
その他	140	85
営業外収益合計	908	862
営業外費用		
支払利息	815	887
その他	89	63
営業外費用合計	905	950
経常利益	2,212	2,620
税金等調整前中間純利益	2,212	2,620
法人税、住民税及び事業税	1,094	1,615
法人税等調整額	117	71
法人税等合計	1,212	1,686
中間純利益	1,000	933
非支配株主に帰属する中間純利益	385	405
親会社株主に帰属する中間純利益	615	528

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,000	933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	626	△147
為替換算調整勘定	3,043	4,458
退職給付に係る調整額	34	△65
持分法適用会社に対する持分相当額	213	130
その他の包括利益合計	3,918	4,375
中間包括利益	4,918	5,309
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,991	4,361
非支配株主に係る中間包括利益	926	947

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,212	2,620
減価償却費	4,812	4,732
のれん償却額	384	402
持分法による投資損益(△は益)	△127	△136
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	11
賞与引当金の増減額(△は減少)	167	△107
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△74
退職給付に係る資産負債の増減額	△144	△250
株式給付引当金の増減額(△は減少)	14	4
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	2	△1
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△161	-
受取利息及び受取配当金	△231	△278
支払利息	815	887
売上債権の増減額(△は増加)	△1,455	1,421
棚卸資産の増減額(△は増加)	718	△1,602
仕入債務の増減額(△は減少)	991	819
未払消費税等の増減額(△は減少)	76	△182
その他の負債の増減額(△は減少)	△165	△132
その他	892	△484
小計	8,792	7,648
利息及び配当金の受取額	211	235
持分法適用会社からの配当金の受取額	27	36
利息の支払額	△774	△859
法人税等の支払額	△899	△1,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,357	5,232

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△677	△1,565
定期預金の払戻による収入	237	1,530
投資有価証券の取得による支出	△17	△21
有形固定資産の取得による支出	△4,245	△5,836
有形固定資産の売却による収入	1	6
無形固定資産の取得による支出	△43	△213
貸付けによる支出	△196	△245
貸付金の回収による収入	71	270
その他	165	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,705	△6,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,512	1,069
長期借入れによる収入	7,500	2,900
長期借入金の返済による支出	△4,705	△4,604
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△329	△347
自己株式の取得による支出	△0	△6
自己株式の処分による収入	0	15
配当金の支払額	△95	△616
非支配株主への配当金の支払額	△233	△402
財務活動によるキャッシュ・フロー	623	△1,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	250	1,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,526	△1,699
現金及び現金同等物の期首残高	18,955	24,586
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,481	22,886

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,465	10,123	8,111	9,907	62,607	775	63,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	304	108	9	183	606	378	985
計	34,769	10,232	8,121	10,090	63,214	1,154	64,368
セグメント利益 又は損失(△)	4,093	1,372	1,388	△1,195	5,659	212	5,872

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,659
「その他」の区分の利益	212
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△3,663
中間連結損益計算書の営業利益	2,210

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

[当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,638	10,517	8,635	11,786	67,577	854	68,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	244	147	9	49	451	303	754
計	36,883	10,664	8,644	11,836	68,029	1,157	69,186
セグメント利益 又は損失(△)	4,496	1,455	1,653	△1,178	6,427	180	6,607

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,427
「その他」の区分の利益	180
セグメント間取引消去	6
全社費用(注)	△3,905
中間連結損益計算書の営業利益	2,708

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、「自動車用エンジン軸受」事業の一部を当社グループ内の事業管理区分の見直しに伴い「非自動車用軸受」事業に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。